

三宅島伝道所通信 2021年度 第二号

12月8日

報告者：岡田真希

主の御名を讃美いたします。

皆さまのお支えを受け、三宅島伝道所は元気に歩んでいます。感謝と共に2021年度第二号の通信をお届けいたします。

9月の終わりに緊急事態宣言が解除され、三宅島にも観光客・釣り客が戻ってきました。コロナ感染者の数も減り、少し安心したところで、また新種の変異株が現れました。なかなか教会の礼拝の営みも以前の落ち着きを取り戻すまで時間がかかりそうです。

三宅島伝道所では、手の消毒・マスクの着用・換気をして、通常通り礼拝をおこなっています。また、礼拝を録音したデータを、東京本土で生活している伝道所会員と要望をくださった方、計6名に毎週メールでお送りしています。

伝道所の礼拝が、礼拝堂内だけに留まらず、離れた場所にいる人たちにも聞かれていることに福音の広がりを感じています。

教師就任式

2022年1月16日(日)に、三宅島伝道所の教師就任式が執り行われることになりました。昨年度はコロナ禍で離島ということもあり、就任式の予定が立ちませんでした。教師が三宅島に来て1年半以上が経ってようやく就任式ができますこと、伝道所会員一同喜んでいきます。

新来会者

今年度作成したHPに毎週の説教要旨と礼拝案内をアップしています。

HPを通して、9月から一人女性の移住者の方が三宅島伝道所の礼拝に通って来られるようになりました。

また、HPを見た男性から10月に連絡があり「聖書を一人で読んでいるが、手引きしてほしい」との要望を受けました。観光業で働いておられる方ですので、日曜日の礼拝には来ることができません。そのため、ウィークデーに牧師とマンツーマンで聖書を学んでいます。クリスチャンではありませんが、とても熱意のある方で、神学的に高度な学びをしています。

クリスチャン人口が減る中であっても、また離島であっても、やはり聖書の真理を求める方はいらっしゃることを見せられます。

クリスマスの飾りつけ

アドベントに入るので、いつも伝道所に遊びに来る子供たちといっしょにクリスマスの飾りつけをしました。リースを飾ったり、クリスマスツリーのタペストリーに木の实をつけたりして手伝ってくれました。

派手な電飾で建物を光らせたりすることはできませんが、島の小さな伝道所らしく、ささやかでも心のこもった飾りつけをすることができました。静かに、聖い気持ちでクリスマスを迎え、悔い改めを深めつつ御子の誕生を喜びたいと思います。



敷地内除草

現伝道所と、阿古地区にある伝道所跡地の除草作業が費用面において課題となっていました。鍬や鎌だけでは追いつかないので、今年はシルバー人材センターにお願いしましたが、費用面を考えると自分たちで除草するのが経済的です。11月に「刈払い機講習」を受けたので、今後は牧師が電動草刈り機を購入し、伝道所と伝道所跡地の敷地内の除草を行っていきます。



建物の登記

礼拝堂として使っている建物は、伝道所会員の山本姉のお宅の離れを使わせていただいています。土地・建物の譲渡をお申し出くださっていますが、島の登記所開設の目処が立っていないので、実際に手続きを進めるのはもう少し先になりそうです。

経済的自立に向けて

東京教区の互助費と、東支区諸教会の献金によって三宅島伝道所の活動は経済的に支えられています。また、他教会の会員の方が3名、毎月月定献金を三宅島伝道所に捧げてくださいしています。そのようなこともあり、今年度から牧師館家賃を伝道所で自己負担できるようになりました。今後も少しでも経済的に自立できるよう努力してまいります。

三宅島伝道所 教勢報告（平均）

	主日礼拝		祈祷会	
	男性	女性	男性	女性
4月	1	4	1	4
5月	1. 2	4. 6	1. 2	4. 6
6月	1. 3	3. 5	1. 3	3. 5
7月	1	2・9	1	2・9
8月	1	4. 3	1	4. 3
9月	1	4, 3	1	3, 5
10月	1	4, 6	1	3. 3
11月	1	4. 5	1	3. 3
平均	1	4, 1	1	3, 7

会計報告を同封いたします。

三宅島での福音宣教のための尊い献金をありがとうございます。

今後とも、三宅島伝道所の歩みのためにお祈りくだされば幸いです。

三宅島伝道所会員一同、皆さまの上に豊かな祝福をお祈りいたします。